
音楽科教育部会

「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

主題設定の理由

一人一人の児童生徒のより主体的な音楽の学び方が新学習指導要領で目指すところである。子どもたちがその音楽のよさを感じ取り、表現を工夫したりするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが一層求められている。そして、「私が感じた音楽」「私が工夫した音楽」「私が表現した音楽」「私がつくった音楽」など、音楽を通じた自己実現として表れたり、「私がいいなと思う音楽」「私が好きな音楽」など、一人ひとりが自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉でその音楽のよさを説明したりすることをできるようにすることが、音楽の学力として求められている。

このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れたり、目の前の音楽を形づくっている要素について、感じ取ったイメージから工夫を考えたり、お互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動は、とても重要であると考えられる。

子どもたち一人ひとりに「その子の音楽」が根付き、音楽を通じた自己実現として表れることを願い、本主題を設定した。

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

(1) 教材研究

新学習指導要領の文言の理解と授業実践

- ・教材選択の視点の明確化（この教材を通じて、子どもたちにどんな力をつけさせたいか）
- ・講習会（創作活動・教材分析・合唱指導）

②授業研究

- ・9年間の発達段階を意識した授業づくり
- ・聴きとる力や感じる力を高める学習活動の充実
- ・子どもたち一人一人の思いや意図を伝え合う活動の充実

③明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成22年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演（合唱）

2 研究の方法

(1) 教協研究日（10回 うち統一授業研究日2回）

- ・菱山小学校 広瀬 敦子先生（9月）
- ・山梨南中学校 清水 岳人先生（2月）

(2) 講習会・学習会

- ・加藤幸平先生「楽しい音楽学習の工夫」(6月)
- ・角田昌直先生「鍵盤ハーモニカの指導法について」(8)

II 成果と課題

今年は音教研東山梨大会もあり、2回の講習会・学習会を行い、統一授業研究会以外でも研究授業を何回か行い、研究を深めることができた。

授業づくりの工夫としては、「9年間の発達を意識した授業づくり」「聴き取る力感じ取る力を高める学習活動の充実」「子どもたち一人一人の思いや意図を伝え合う活動の充実」の3点に取り組んだ。子どもたちがつくりたい音楽のイメージを持ち、頭の中に奏でられている音楽を表現させられるような音楽づくりの授業。誰でもできるけど精練された授業。そして、少ない時間数の中で、確かな音楽の力をつけることができるような授業にするため、教材の研究を深めた。そして、その教材の中から教師が、子どもたちに気づかせたい「音楽を形づくっている要素」を見つけ出し、授業の中で鳴り響く音楽に計算されているけどさりげなく盛り込み、それを子どもたちが感じ取り、気づき、音楽づくりに生かせるように、明確な思いや意図をもって、丁寧に追って渡して行くように心がけた。

2回の研究授業は、事前に部会員全員で検討会を行い、授業の流れや内容などを共通理解した上で臨むことができた。また、視点を3つに絞って検討していった。①「子どもたちが、表現したい様々な音楽の発想やイメージが持てる活動」②「音楽の仕組みを生かして、見通しをもって音楽をつくる手立て」③「子どもたちが思いや意図を伝え合う活動」について明確にしていきながら研究を深めることができた。

来年度も本テーマに沿って研究を進めていくわけだが、感受したことを表現に結びつけるためにはどうしたらよいか、あらゆる小さな場面での小さな積み重ねを大切にして、自分の思いを表現できる子どもを育てていく研究を深めていきたい。

III 成果物

- 小学校 第5学年
「和声の響きに合わせて旋律をつくろう」
菱山小学校 広瀬 敦子先生
- 中学校 第1学年
「歌詞の内容を考え表現を工夫しよう」
山梨南中学校 清水 岳人先生

(部長 筒井 美佐子)